

女王卑弥呼がご案内する

大和郡山
城下町

三社巡り

徒歩
約1時間
2.5km



郡山八幡神社



源九郎稲荷神社



葉園八幡神社



女王卑弥呼

大和郡山市矢田地区には、にぎはやひのみこと 饒速日命が磐船に乗ってこの地飛来したという伝承から、ここを邪馬台国とする説があります。1982年より大和郡山市では観光キャンペーンレディとして女王卑弥呼を選出し、様々な行事で大和郡山のPR活動を行なっています。

楽しく参拝していただくために

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力ください。

- 手洗い・うがいの徹底
- マスクの着用
- 人との距離の確保
- 大きな声での会話を控える など

大和郡山歴史同好会

うどんと昆布 鶴田昆布店

老舗昆布店がお昼限定で開店するうどん屋さんです。1年以上蔵で寝かせた北海道産昆布のお出汁が美味！

営業時間:11時~14時30分
定休日:水曜、木曜、日曜



本家菊屋 本店

奈良県で最古の和菓子屋さんです。江戸時代末期に建てられたお店では、今も「ぼったり床几」が使われています。歴史を感じさせる店内に入ると時間まで旅した雰囲気です。

営業時間:8時~18時30分 年中無休(元旦のみ休み)



おみやげ処 こちくや

店内は、見るだけでも楽しくなる金魚グッズでいっぱい。また、「金魚すくい道場」が併設されていて年中金魚すくいを体験できます。

営業時間:9時~18時
年中無休(正月の5日間休み)



中谷酒造「柳町蔵」予定地

日本酒の醸造体験や造りたてのお酒を試飲できる酒蔵が2022年春にオープンします。



箱本館「紺屋」

元紺屋を改修した観光施設で、市内で最も古い町家(1766年頃)です。館内には藍染や箱本十三町の資料や、藍染体験工房・ショップがあります。

入館無料 開館時間:9時~17時
定休日:月曜(祝日の場合は翌平日)



外堀緑地

郡山城外堀跡を生かした公園です。16世紀終わり頃の外堀普請にともなう川違え(流路変更)が行われるまで此処を秋篠川が流れていました。

女王卑弥呼がご案内する
大和郡山 城下町 **三社巡り**



スタート・ゴール 近鉄郡山駅



近鉄郡山駅は三角屋根のかわいい駅舎。改札を出て東側にある駅前商店街の門がスタート・ゴールの目印です。

金魚ストリート やなぎまち商店街

懐かしい雰囲気やなぎまち商店街では、2020年11月より「金魚ストリート」と銘打ち金魚水槽を常設展示しています。商店街それぞれのお店で30種以上の金魚を見ることができる、大和郡山ならではの「まちなか金魚水族館」です。



地元では **柳八幡宮** と呼ばれています



こおりやまはちまんじんじゃ
1 郡山八幡神社

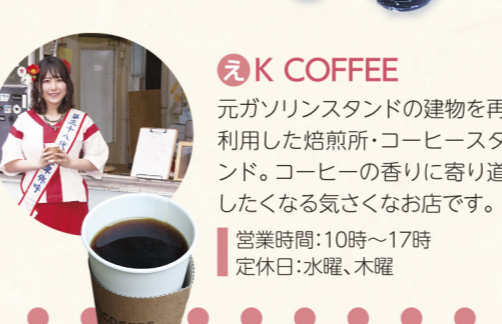
古くからの郡山鎮守神で、歴代城主からも郡山城を鎮護する八幡宮として尊崇を受け、城下の人々が寄進した多くの石灯笼には「御城主様御武運長久」の文字が刻まれています。近年は、野球少年が必勝祈願に訪れる「グラブ神社」としても有名です。境内には菅原神社など七摂社が祀られ、本殿奥には郡山城外堀の御土居(土塁)が現在も残っています。



とほん

店主がセレクトした本の並ぶ小さな本屋さんです。落ち着いた雰囲気の店内で素敵な本を探してみてください。

営業時間:11時~17時
定休日:木曜



Glass Studio Hand

町家のいちばん奥にある、バーナーワークによるガラス工房です。気軽にトンボ玉やペンダント制作ができる体験コースがあります。

営業時間:10時~17時
定休日:水曜、木曜



K COFFEE

元ガソリンスタンドの建物を再利用した焙煎所・コーヒースタンド。コーヒーの香りに寄り道したくなる気さくなお店です。

営業時間:10時~17時
定休日:水曜、木曜



地元では **やこうさん** と呼ばれています

やくおんはちまんじんじゃ
3 薬園八幡神社

奈良時代749年、東大寺の大仏造頭を守護するため迎えられた宇佐(大分県)の八幡大神が、平城京の南、大宮人のための薬草園があった梨原の薬園新宮で休まれたとき勧請されたのが、薬園八幡神社と伝えられます。城下町の古社として今日も厚く信仰を集めています。



中嶋源九郎餅本舗

源九郎稲荷神社の門前で開業して100年あまり。地元で親しまれる源九郎餅は素朴な味わいのあん入り焼き餅です。

営業時間:9時~19時 定休日:火曜

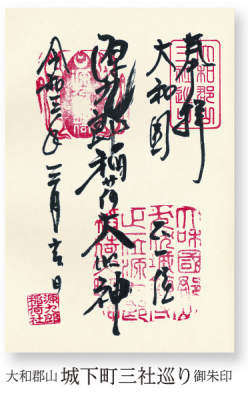


地元では **げんくろさん** と呼ばれています



げんくろういなりじんじゃ
2 源九郎稲荷神社

人形浄瑠璃や歌舞伎の「義経千本桜」に登場する源九郎狐を祀る神社です。源義経が兄頼朝の討手から吉野に逃避した時、白狐が家臣に化けて義経と静御前を守り、感謝した義経が自身の名「源九郎」を贈ったと言われます。豊臣秀長が郡山城の守護神と定め、以降歴代藩主にも崇敬されてきました。日本三大稲荷の一つで、五穀豊穡、商売繁盛の神様として信仰を集めています。





女王卑弥呼がご案内する
大和郡山 城下町 三社巡り

大和郡山は奈良では数少ない城下町

郡山城の歴史は、1580年(天正8年)大和の戦国大名 筒井順慶の築城に始まります。1585年(天正13年)には豊臣秀長(秀吉弟)が、郡山に入市し本格的な城郭と城下町の建設を開始し、約5.5kmの外堀に囲まれた城下町が完成しました。江戸時代には、徳川家の譜代大名が藩主となり、大和国の政治経済の中心として栄えました。

箱本十三町

豊臣秀長は、城下の東南に商工業者を集めて自治権や独占営業権を与え強力な城下町振興策を進めました。これらの町は城下町経済の中心として「箱本十三町」と呼ばれ、400年以上経った現在も綿町、紺屋町、本町、今井町、奈良町、堺町、藪町、柳町、茶町、豆腐町、魚塩町、材木町、雑穀町の13の町名が残っています。

ふたつの八幡神社は 郡山城築城以前からの鎮守社

大和郡山の城下町は、平城京九条大路の南側に位置しています。奈良時代には東大寺の荘園清澄庄があり、そこから平安時代に薬園庄が、鎌倉時代には郡山庄が独立しました。郡山庄は現在郡山城跡がある丘陵地を拠点にして郡山八幡神社を鎮守社とし、また、薬園庄はその東の秋篠川に面する平坦地を拠点にして薬園八幡神社を鎮守社とし、ふたつの八幡神社は、郡山城が築城される数百年以上前から土地の護り神として祀られていたと伝えられます。

築城にともなう遷座

室町時代末期の1491年(延徳3年)薬園八幡神社は、地侍小田切春次の砦建設のため魚町から現在の材木町へ遷座したと伝えられます。

また、郡山八幡神社は、1585年(天正13年)から始まる豊臣秀長の築城のため郡山城跡のある丘陵地から遷座し、柳町の町作り完成により現在の柳四丁目へ移ったと伝えられます。

そして、このころ源九郎稲荷神社は、豊臣秀長が郡山城の鎮守として(一説には吉野から勧請し)城内に祀ったと言われます。その後、江戸時代中頃の1719年(享保4年)に現在の洞泉寺町に遷座したと伝えられています。



筒井順慶



豊臣秀長



郡山城天守台と柳澤神社
本丸跡には明治13年に創建された柳澤神社が鎮座しています



郡山城極楽橋再建 令和3年2月竣工

追手向櫓



大和郡山お城まつり メインイベント
2021年3月24日~4月7日

協賛店

けし子司
本家 菊屋



秀吉公も召し上がった
御城之口餅

店祖 菊屋治兵衛が豊臣秀長公に連れられ大和郡山に来たのが今から400年以上前の天正13年のこと。秀長公は、治兵衛に兄秀吉公をもてなす茶会のため珍果を作るように命じられこの時献上した粒餡きな粉餅が今日も伝統製法を守り続ける御城之口餅(おしろのくちもち)です。



本家菊屋 本店 大和郡山市柳1丁目11番地 中面地図 TEL:0743-52-0035

協賛 (順不同)

FUJIMOTO KENSETSU Inc. since 1964
藤本建設株式会社

誇れる歴史がある 創りたい未来がある
Asanuma

中谷酒造株式会社

ふれ 藍房
綿元
WATAGEN

後援 一般社団法人 大和郡山市観光協会 大和郡山市商工会 公益財団法人 郡山城史跡・柳沢文庫保存会 筒井順慶顕彰会

このマップは「大和郡山市まちづくりアイデアサポート事業」の支援を受けて作られました。

大和郡山御朱印マップ

女王卑弥呼がご案内する 大和郡山 城下町三社巡り

撮影:カメラのニシカワ ロケ手配:平尾電気商会 編集デザイン:N Studio

発行:大和郡山歴史同好会 発行日:2021年3月19日

掲載されている神社・施設・店舗の許可をいただいています。

歴史学の観点から大和郡山市都市計画課文化財保存活用係の監修を受けています。大和郡山御朱印マップの文章・写真・画像の二次使用・無断転写はお断りします。